2026年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年８月13日

上場会社名　　株式会社やまや　　上場取引所　東
コード番号　　9994　　ＵＲＬ　https://www.yamaya.jp
代表者　　（役職名）代表取締役会長　　（氏名）山内　英靖
問合せ先責任者　（役職名）執行役員経理部長　　（氏名）田原口　裕基　　ＴＥＬ　022-742-3114

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年３月期第１四半期の連結業績（2025年４月１日～2025年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年３月期第１四半期	38,198	△2.4	769	△40.2	789	△40.2	465	△43.1
2025年３月期第１四半期	39,151	0.6	1,286	△2.7	1,321	△3.1	817	2.4

（注）包括利益 2026年３月期第１四半期　656百万円（△36.3%）　2025年３月期第１四半期 1,031百万円（21.5%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年３月期第１四半期	42.91	－
2025年３月期第１四半期	75.37	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年３月期第１四半期	63,611	37,647	55.8
2025年３月期	66,942	37,330	52.7

（参考）自己資本　　2026年３月期第１四半期　　35,513百万円　　2025年３月期　　35,256百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年３月期	－	27.00	－	27.00	54.00
2026年３月期	－				
2026年３月期（予想）		37.00	－	38.00	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
2026年３月期（予想）第２四半期末配当金の内訳　普通配当35円00銭　記念配当２円00銭（会社設立55周年記念配当）
2026年３月期（予想）期末配当金の内訳　普通配当35円00銭　記念配当３円00銭（会社設立55周年記念配当）
配当予想の修正については、本日（2025年８月13日）公表いたしました「配当予想の修正(会社設立55周年記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

３．2026年３月期の連結業績予想（2025年４月１日～2026年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	80,300	0.9	2,440	0.2	2,490	0.2	1,550	0.1	142.97
通期	163,500	2.1	5,530	2.0	5,630	1.1	3,648	0.1	336.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年３月期１Ｑ	10,847,870株	2025年３月期	10,847,870株
②　期末自己株式数	2026年３月期１Ｑ	6,426株	2025年３月期	6,426株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年３月期１Ｑ	10,841,444株	2025年３月期１Ｑ	10,841,518株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、３ページ「１.当四半期決算に関する定性的情報　(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当社はおかげさまで本年、会社設立55周年を迎えることとなりました。これを記念して１株当たり年間５円の記念配当を実施することといたしました。今後も「より良いものを、より安く」の理念を実践し、価値あるものを、より多くのお客様にお届けできるよう取り組んでまいります。

当第１四半期連結累計期間（2025年４月１日～2025年６月30日）におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善等により、景気は緩やかに回復基調とはなったものの、継続する物価上昇や米国トランプ政権の関税政策の影響による景気下振れリスクの高まりを受け、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、豊かな生活をお客様にお届けすることを基本姿勢として、刻々と変化する社会環境と多様化するお客様ニーズへ対応した商品・サービスを提供し、顧客満足度の向上に取り組んでまいりました。

当第１四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は、売上高が381億98百万円（前年同期比2.4％減）、営業利益が７億69百万円（同40.2％減）、経常利益が７億89百万円（同40.2％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が４億65百万円（同43.1％減）となりました。

メーカー値上げ前の３月に仮需があった影響もあり、４月からの売上高は前年にやや及びませんでした。利益面においても、新規出店及び改装費用、人件費や光熱費等のコストが上昇したことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は減少しました。

当第１四半期連結会計期間末において、酒販事業353店(前年同期比２店減)、外食事業612店(同15店減)、グループ合計店舗数965店(同17店減)を運営しています。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[酒販事業]

酒販事業における売上高は311億62百万円(前年同期比2.8％減)、営業利益は５億62百万円（同36.4％減）となりました。

当第１四半期連結累計期間は、４月にメーカー値上げがありましたが、主要商品は４月以降もしばらく価格を据え置いて販売し、価格上昇への不安を抱える方にも安心して購入いただける環境を提供しました。大阪・関西万博の開催に合わせ、全国のおいしいものを集めた「やまや万博」を開催し、世界各国の個性豊かなお酒と合わせ、やまやの豊富な品揃えをアピールしています。その中で、お手頃な東欧ワインの品揃えを強化し、新しい産地やブドウ品種を選ぶ愉しさを売場で演出しました。

インバウンドでは高額品の需要は減少傾向となりましたが、やまやでしか売っていない輸入商品や国産のこだわりの品、地元限定品をアピールしました。また、米不足や価格高騰への対応として、乾麺などの代替商品を充実させるとともに、政府備蓄米の販売も開始しました。

新規出店として、南岩国店（山口県）を開店し、福津店（福岡県）を閉店しました。これにより、2025年６月末における酒販事業の総店舗数は、353店（前年同期比２店減）となりました。

[外食事業]

外食事業における売上高は71億11百万円(前年同期比0.9％減)、営業利益は２億５百万円(同48.6％減)となりました。

外食業界におきましては、外国人観光客の増加に伴い回復の動きが続いているものの、継続的な物価上昇による消費者の節約志向・選別志向は依然として高く、原材料費、光熱費、人件費の上昇もあり、事業を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような状況の中、チムニー株式会社では、「春の鰹まつり」、「韓国グルメフェア」など毎年人気のフェアを開催、料理家とのコラボメニューもご用意し、ご好評をいただきました。インバウンド団体や国内旅行団体の集客につきましては、引き続き、取り組みを強化するとともに、ＷＥＢ販促による認知拡大にも努めております。

株式会社つぼ八では、大阪・関西万博を見据えて改装した「つぼ八心斎橋アメ村酒場店」は外国人旅行客を中心にご好評をいただいており、４月に開店した「つぼ八・焼肉の達人北野通り店」はつぼ八店舗内に焼肉席を設けたハイブリッド店となっており、ファミリー層を中心にご支持をいただいています。

店舗開発としましては、新業態の開発・展開にも注力し、直営店５店（チムニー４店、つぼ八１店）を新規出店するとともに、店舗のブラッシュアップ（改装、業態転換、修繕等）を進めてまいりました。

2025年６月末の外食事業直営店は、チムニーが321店、つぼ八が６店の計327店(前年同期比５店減)、外食ＦＣ店は、チムニーが144店、つぼ八が141店の計285店(同10店減)となり、外食事業の総店舗数は、612店(同15店減)となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べて33億30百万円（△5.0％）減少し、636億11百万円となりました。

流動資産は、商品及び製品が27億25百万円、売掛金が10億20百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べて37億７百万円（△8.5％）減少し、400億53百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて３億76百万円（1.6％）増加し、235億58百万円となりました。

(負債)

総負債は、前連結会計年度末と比べて36億47百万円（△12.3％）減少し、259億64百万円となりました。

流動負債は、買掛金が36億79百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べて37億２百万円（△16.4％）減少し、188億19百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて54百万円（0.8％）増加し、71億44百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べて３億16百万円（0.8％）増加し、376億47百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の52.7％から55.8％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点では2025年５月15日に公表いたしました予想から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2025年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,588	12,781
売掛金	6,465	5,445
商品及び製品	22,535	19,810
仕掛品	68	78
原材料及び貯蔵品	34	27
前払費用	883	821
その他	1,381	1,265
貸倒引当金	△198	△177
流動資産合計	43,760	40,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,602	29,747
減価償却累計額	△24,292	△24,355
建物及び構築物（純額）	5,309	5,392
機械装置及び運搬具	1,625	1,625
減価償却累計額	△1,513	△1,521
機械装置及び運搬具（純額）	112	104
工具、器具及び備品	9,848	9,874
減価償却累計額	△9,085	△9,111
工具、器具及び備品（純額）	762	762
リース資産	1,738	1,886
減価償却累計額	△1,488	△1,492
リース資産（純額）	250	393
土地	4,618	4,824
建設仮勘定	15	30
有形固定資産合計	11,068	11,508
無形固定資産		
ソフトウエア	47	54
のれん	1,314	1,277
その他	16	16
無形固定資産合計	1,378	1,347
投資その他の資産		
投資有価証券	910	970
関係会社株式	1,043	1,130
破産更生債権等	66	60
長期前払費用	128	144
退職給付に係る資産	66	69
差入保証金	6,931	6,911
繰延税金資産	1,595	1,426
その他	55	49
貸倒引当金	△63	△61
投資その他の資産合計	10,735	10,701
固定資産合計	23,182	23,558
資産合計	66,942	63,611

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2025年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,525	9,845
短期借入金	3,100	3,100
１年内返済予定の長期借入金	467	467
リース債務	22	33
未払金	1,847	1,686
未払費用	949	947
未払法人税等	745	76
未払消費税等	420	925
預り金	251	439
賞与引当金	758	427
その他	433	870
流動負債合計	22,522	18,819
固定負債		
長期借入金	2,968	2,851
退職給付に係る負債	339	345
リース債務	249	397
役員退職慰労引当金	692	697
資産除去債務	1,560	1,564
その他	1,279	1,287
固定負債合計	7,089	7,144
負債合計	29,611	25,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	5,815	5,815
利益剰余金	25,670	25,843
自己株式	△9	△9
株主資本合計	34,724	34,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	532	616
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	532	616
非支配株主持分	2,074	2,134
純資産合計	37,330	37,647
負債純資産合計	66,942	63,611

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）
売上高	39,151	38,198
売上原価	27,723	27,089
売上総利益	11,428	11,109
販売費及び一般管理費	10,142	10,339
営業利益	1,286	769
営業外収益		
受取利息	1	0
受取手数料	19	20
受取配当金	12	16
持分法による投資利益	1	6
その他	27	10
営業外収益合計	63	53
営業外費用		
支払利息	18	19
店舗改装費用	3	7
その他	6	6
営業外費用合計	28	33
経常利益	1,321	789
特別利益		
受取保険金	－	31
特別利益合計	－	31
特別損失		
固定資産売却損	0	－
固定資産除却損	0	－
減損損失	11	49
その他	0	29
特別損失合計	12	78
税金等調整前四半期純利益	1,308	742
法人税、住民税及び事業税	122	57
法人税等調整額	166	128
法人税等合計	289	185
四半期純利益	1,019	556
非支配株主に帰属する四半期純利益	202	91
親会社株主に帰属する四半期純利益	817	465

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）
四半期純利益	1,019	556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	99
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	12	99
四半期包括利益	1,031	656
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	822	549
非支配株主に係る四半期包括利益	209	107

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　2024年４月１日　至　2024年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,976	7,175	39,151	－	39,151
セグメント間の内部売上高又は振替高	77	－	77	△77	－
計	32,054	7,175	39,229	△77	39,151
セグメント利益	884	399	1,283	2	1,286

（注）１．調整額はセグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において0百万円、「外食事業」において11百万円であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,086	7,111	38,198	－	38,198
セグメント間の内部売上高又は振替高	76	－	76	△76	－
計	31,162	7,111	38,274	△76	38,198
セグメント利益	562	205	767	1	769

（注）１．調整額はセグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において５百万円、「外食事業」において43百万円であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）
当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2024年４月１日 至　2024年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）
減価償却費	255百万円	248百万円
のれんの償却額	37	37